

質疑：計算書の表紙に複数の設計事務所名称を表記出来ませんか

回答：記述フォーマット（ルール）を利用して対応できます。

1) [一般事項の入力]⇒[建設地等]⇒[電話番号]欄を利用した事例です。

建設地等		建物概要		クレジット		基本データ		固定荷重		使用材料		許容応力度		設計方針		等級		金物		ペイント		基本設定		特殊設定	
物件名	基本モデル 2階建て木造住宅（長期優良住宅 耐震等級2）																								
建設主																									
建築士資格	一級建築士 登録番号：1234567																								
構造設計者氏名	北海 太郎																								
所属建築士事務所	(有) 木造舎 一級建築士事務所																								
郵便番号	240-0013																								
所在地	横浜市保土ヶ谷区帷子町2-67-1-107																								
電話番号	045-331-2670 // //〇▲□設計事務所//管理建築士 一二三//登録番号 ABC																								
建設場所	横浜市 地域係数1.0 基準風速34m/s 積雪30cm 地盤支持力20kN/m <sup>2</sup>																								
主要用途	専用住宅																								
コメント	基本モデル（長期優良住宅 耐震等級2）																								
地盤許容応力度(kN/m <sup>2</sup> )	20	風圧力に対する所要壁量	50																						
根入れ(m)	0.2	地盤種別	2種 (1.0)																						
せん断力係数	0.20	<input type="checkbox"/> 多雪地域 <input type="checkbox"/> 静岡県 建築構造設計指針																							
地震地域係数	1.0	垂直積雪量 (cm)	30																						
地表面粗度区分	3	<input type="checkbox"/> 86条6項に従い低減する(計算には使用しません)																							
基準風速 (m/s)	34	積雪低減用屋根勾配	0 /10																						

// //は、[改行]を指示します。 // //は、[改行 空行 改行]です。

2) 表紙の出力をみます。

## 2階建て木造建築 構造計算書

2014年11月

物件名 : 基本モデル 2階建て木造住宅 (長期優良住宅 耐震等級2)  
建設場所 : 横浜市 地域係数1.0 基準風速34m/s  
積雪30cm 地盤支持力20kN/m<sup>2</sup>  
建築主 :  
建築士資格 : 一級建築士 登録番号: 1234567  
構造設計者氏名 : 北海 太郎  
建築士事務所 : (有) 木造舎 一級建築士事務所  
郵便番号 : 240-0013  
所在地 : 横浜市保土ヶ谷区帷子町2-67-1-107  
電話番号 : 045-231-2670

○▲□設計事務所  
管理建築士 一二三  
登録番号 ABC

←空行を1行挿入しています

追加記述された文面

K1ZJKURI 2012 Ver 6.80  
S/N : 14-0001

[// //]により追加したい記述が[電話番号]の下に表示されました。